

◇平成26(2014)年9月18日 文教市民委員会協議会

文化行政について

No.7 灰垣委員

今、非常に耳ざわりのいい説明がなされたわけですがけれども、施設の整備、ハード面、または管理運営についてのソフト面といいますか、先ほどもスポーツのところでも申し上げましたけれども、文化というのは、やはり中心に据えるべきものだと思ってます。

今、部長が説明されたとおりに、素晴らしいものができ上がることを期待いたします。

以上です。

いじめ対策について

No.14 灰垣委員

資料3でも報告いただきまして、高槻市は市長をリーダーにして少人数学級やICT、また学校図書館の図書標準の達成とか、教育を最重要課題、子育ても含めてですけれども、進めていращやる結果、学力の向上も見られるというような状況だというふうに私は判断してますけれども、今ご説明のあった、いじめのアンケートですね。これは統一のものなんでしょうか。それとも、学校ごとによって違うんでしょうか。ちょっとお聞きしたいです。

No.15 安田教育指導課長

1ページ目の、いじめの認知校は小学校は22校、中学校は11校ということで41校中22校、18校中11校ということで、それ以外はいじめがないんだというふうな、この数字で見れば、そういうふうに見えるんですけども、見落としということがあっては困るところからアンケートのことをお聞きしたのですが、いろんな調査、個人面接等とかいろいろありますけれども、やっぱり早期発見というのは、その見落としがないような、そこら辺をしっかりと注意していく必要が逆にあるのかなと。41校中22校引いたら、19校ですか。そこがないという、災害じゃないですけども、あるのが前提だというぐらいの調査の仕方が必要かなと思いましたので、意見を述べさせていただきました。

以上でございます。

No.16 灰垣委員